

三 機關銃中隊 陸軍上等兵 上坂 朝日 利男 豊
 同 陸軍一等兵 高田 繁太郎 郎
 同 陸軍一等兵 以上十日ヨリ一泊二日、豫定ヲ以テ石
 右者入院患者輸血ヲ爲本十四日ヨリ一泊二日、豫定ヲ以テ石
 第五三二五部隊ニ出張ヲ命ス (以上十日ヨリ一泊二日、豫定ヲ以テ石
 四 陸軍兵長 小野 田 藤 郎
 陸軍上等兵 小野 田 藤 郎
 右者軍事機秘密書類返納並ニ受領、爲本十五日即日歸
 隊、豫定ヲ以テ旅團司令部ニ出張ヲ命ズ

部隊長若者任、挨拶

昭和十九年十二月十五日

飯塚、今般計ラズモ山本大佐殿、後任トシテ着任スルコトニ
 ナリシタ コレカラ諸士ト共ニ大東亞戰事ヲ完遂シタイト念
 願ニテ居ルモノデアリマス、私ハ是レト言ツテ取上ゲテ要求シタ
 イト言フ事項ナシ、只、私ハ上司ヨリ、訓令、訓示、注意事項、
 項ヲ即時實行セヨ、コレダケデアル
 會報ヤ注意ニ毎週同レ事ガ繰返ヘシ出テ居ルガ是レハ
 實ニコレヲ實行仕様ト言フ氣持ガ顯レテ居ナイ爲デアル是
 レヲ實行セ、隨ツテ團結鞏固、軍紀嚴正ニナリ、服從、精神、
 カ自然湧上ツテ來ルモノデアル一般ニ克ク徹底シテ貫ライタイ
 此、點ハ師團長閣下モ旅團長閣下モ謂ワレテ居ンレル様ニ
 一所懸命ニ即時實行セヨ、細カナ事ヲ擧ゲレバ限リガナイガ
 先氣テ明朗デアル、クヨク、セズ朗カニヤレ、克ク自分ノ氣
 持ヲ朗ニ持シ、クヨク、セズ愉快ノ氣守テ、急務ヤレ、日

ニツイタ事ハ折ニマレ注意シ改善ニテ行ク

終

昭和十九年十二月十三日

部隊長

飯塚少佐

十二月十六日	兩 金曜	留名曜	見送	教 育	傳染 病	飯 隊
一 陣地構築	石十五作命第五四號ニ基キ築成作業ヲ開始ス	ニ 山本部隊長見送リ、高木部隊長及各隊隊長 九。直行依リ那覇ニ出張シ一五。飯隊ス	而田ニ於テ行ヒ留守業ヲ規定南ニ教育ヲ為	各隊團長時及下士官番隊中尉以下十九名ハ八五 岩花而田司令部ニ到リ該教育ヲ受ケニ。四。飯	隊ス 初年兵教育隊ヨリニ名流行性痘瘡發症發生	石田中尉、新郷陸軍病院入院中、遂本日一日。
山田曹長以下ニ名内也荷功帝領中、遂本日一日。						

新 第六 飯原大 本日、勤勞員

日直野枝 香櫃中尉

日直野枝 大森中尉

日 下菅 外守督長

内野衛兵 松田隊

対里 伊時隊

対海 監視哨 松島隊

日直下士官 中西軍曹

規 員七 本日規員

人員 飯塚少佐以下七名

島正 日島 日

一、大隊ハ速カニ棲息設備並其ノ他ノ附屬施設ヲ整備セントス
 二、本部各隊ニ部ヲ以テ陣地ノ補修ヲ續行スルト共ニ主力ヲ
 以テ棲息居住設備並其ノ他ノ附屬施設ノ整備ヲ實施ス
 三、十二月末日迄完成スベシ

三、細部ニ関シテハ別ニ指示ス

大隊長 飯塚豊三郎

下達法 印刷交付
 配布先 各中隊凡ハ直轄部隊外ハ小隊本部各室

陣地計画並補修

本部作戦関係將校及中隊長ハ現陣地ヲ再檢計シ補修新設

計画ヲ速カニ樹立スルコト

既設陣地ハ取敢ズ甲斐戰備ノ配置ニ就テ得ル如ク補修ス

特ニ排水設備ニ留意ヲ要ス

居住設備

軍民混住ヲ絶對解消ス之為ニ記各號ノ如ク實施スルコトス

ノ學校兵舎他ノ公共建築物及空屋ヲ使用ス

之三角兵舎等家急造バラック等現存スルモノ精築中ノモノ

ヲ速カニ完成使用ス必要ニ應ジ新ニ精築スルモノトス

ヲ已ムヲ得ザレバ一時天幕露營ヲナスベシ此ノ際特ニ保健ニ留

意ス

々第二中隊及機銃中隊主力ハ系数計進ヲ使用スルコトヲ得

但シ使用區分ニ關シテハ本部ニ於テ指示ス

一 同一部落ニ自營スル將校ハ各隊毎ニノニ號ニ示ス一家屋ニ同居スルモノトス但シ中隊長及分屯スル小隊長ハ一家ヲ使用スルコトヲ得共ニ他ハ總テ部隊長ノ許可ヲ受クルモノトス

二 附屬施設

兵器彈藥糧秣ノ格納集積
速カニ洞窟外ニ分散配置ス(時ニ兵器彈藥ニ重悉ヲ置キ貯蓄ニ留意スベシ)
之対空対海監視有共ノ他之ニ類スルモノ
捷息掩護監視ニ必要ナル施設ヲ速カニ定備シ時ニ偽裝ニ留意スルモノトス

掩蔽部(掩蓋ヲ有スルモノ反洞窟)
既設ノモノ天然ノモノヲ調査シ取扱ニ使用シ得ル如ク整備ス

四 報告

第三第三項ノ實施設計画ヲ上月二十日迄ニ報告スルモノトス

石十五隊命第五八號

獨立步兵第十五大隊命令

十月十六日

一 旅團ハ昭和二十年度第二年度下士官候補者集合教育

育ニ實施セララル

二 大隊ハ前項教育ノ爲被教育者ニ兵器ヲ携行セシム

ントス

三 關係隊長ハ明十七日一六。迄ニ左記兵器ヲ本部ニ差

出スベシ

左記

兵器	員數	差出中隊	兵器	員數	差出中隊
突發式擲彈筒(舊)	一	第二中隊	突發式擲彈筒(新)	一	第二中隊
同	一	第二中隊	同	一	第三中隊
同	一	第四中隊	同	一	第五中隊

四 兵器委員ハ前項兵器ヲ被教育者ニ携行セシムベシ

大隊長 飯塚豐三郎

下達要旨口達後印刷交付
配布先 各中隊IP凡(参考 62D 64B)

十二月十七日

一 陣地構築

曇日曜

大隊の前日引續き築成作業を實施ス

富名要

日之命令

二 勤務を張る南に別紙石丸六日命第一五八號ヲ下達ス

會報

三 別紙石丸六會第一三九號ヲ下達ス

初度巡視

四 部隊長より本部伊許隊ヲ巡視サレシム

隨行者 香碓中尉

勤務五本日、勤務員

日直將校 白石少尉

巡警將校 多田見習士官

日 下士官 萩本軍曹

内務衛兵 直轄小隊

封海 監視哨 伊藤隊

封海 監視哨 松島隊

日直下士官 伊藤曹長

現員六本日現員

人員 飯原少佐以下七名

馬正 日馬 四

石九六日命第一五八號

石第三五九六部隊日々命令

十一月十七日一六〇〇 富

副官本部人事功績恩賞係及各隊(配屬隊ヲ除ク)内務掛功績

掛ハ明十六日石兵團ニ於テ實施スル集合教育ニ参加ヲ命ス

依テ参加者ハ〇九〇〇迄ニ本部ニ集合シ石川准尉ノ指揮ヲ以テ

出發スベシ

服装ハ徒手帶劍(カ)巻脚絆トシ晝食並ニ十五日會報時配布

留守業務規定ノ按基ヲ携行スルモトス (十五日日々命令追加)

右者入院患者ヲ護送シ爲本十六日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ中繩

陸軍病院ニ出張ヲ命ス (十六日日々命令追加)

第三中隊 陸軍一等兵 坂口憲二

第五中隊 同 赤石武美

右者引續キ通信班勤務ヲ命ズ 陸軍技術軍曹 岡田晴男

右者返納兵器整 陸軍技術軍曹 岡田晴男

教師團兵器部ニ出張ヲ命ス 理、爲本十六日ヨリ二泊三日ノ豫定ヲ以テ嘉

五 陸軍衛生一等兵 宮崎禮一
 右者衛生材料受領ノ為本十七日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ石第
 六八二部隊福田隊ニ出張ヲ命ズ
 六 本 陸軍大尉 三輪信一
 教育主任者會同參列ノ為本十七日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ
 石兵團司令部ニ出張ヲ命ズ
 七 部隊長初度巡視計畫別紙ノ如シ
 八 明十七日十九日二兩日須川隊 山内隊ヨリ乘馬各一頭(傳令ヲ附ス)ヲ
 七時三十分迄ニ本部ニ差出シ副官ノ指示ヲ受ケシムベシ
 九 本 陸軍中尉 石田清治
 直轄小隊長ヲ命ズ
 松島隊ノ一テ小隊長ヲ指揮ス
 十 陸軍少尉 林 四郎
 小隊長カヲ石田中尉ニ申送り中隊ニ復歸ヲ命ズ

部隊長初度巡視計畫

昭和一九三五年六月九日 石第三五九六部隊

月日	時間	行	動	時間	巡視順序	摘	要	實施
八、二〇		富名腰	發				一到着(出迎)	西女領
八、二〇		伊藤隊	着	50	伊藤隊	連絡着ヲ	二 狀況報告	
九、一〇		同	發			本部ニ差	三 内務巡視	
九、二〇		山内隊	着			連絡着ヲ		

九 本部 陸軍中尉 石田清治
 直轄小隊長ヲ命ジス
 松島隊ノ一テ小隊長ヲ指揮ス
 十 陸軍少尉 林四郎
 小隊長カヲ石田中尉ニ申送り中隊ニ復歸ヲ命ジ

備考	日 九 十 月 二 十							日 八 十 月 二 十							月日	時間	行	動	所	間	巡視順序	摘	要	實施	西	領
	一五三	一四三	一三三	一二三	一一三	一〇三	〇九三	〇八三	一六五	一五五	一四五	一三五	一二五	一一五												
三輪大尉 副官 小松軍醫 武藤主計 八部隊長ニ隨行 スルモノトス	富名隊 着	同 天倉隊 着	江戶隊ニ於テ食具 施準備ノコト	江戶隊 着	外山隊 着	須川隊 着	富名隊 着	富名隊 着	教育隊 着	松島隊 着	松島隊 着	橋本隊 着	同 松田隊 着	同 山内隊 着	同 伊藤隊 着	富名隊 着										
		50	100	50	50	50			110	50	50	50	50	50	50											
		天倉隊	晝食	江戶隊	外山隊	須川隊			教育隊	松島隊	晝食	橋本隊	松田隊	山内隊	伊藤隊											
		連絡着ヲ 又路ニ		連絡着ヲ 又路ニ	連絡着ヲ 又路ニ	連絡着ヲ 又路ニ			系教南端ニ 連絡着ヲ 又路ニ	志堅原西 方三叉路ニ 出スコト	連絡着ヲ 又路ニ	連絡着ヲ 又路ニ	連絡着ヲ 又路ニ	連絡着ヲ 又路ニ	連絡着ヲ 又路ニ											
				五一般訓ニ終了セハ 下士官以上右翼ニ 集合スルモノトス		四内務巡視ハ下士官以 下各担任及宿舎 定位ニ在ルモノトス		三狀況報告ハ中隊ノ現 況ヲ口答ヲ以テ報告 スルモノトス		二集合場所隊形等 各隊長ニ於テ適宜 定ムルモノトス		一服装ハ徒手帶劍 卷脚絆トシ略綬佩 用トス														

部隊長初度巡視計畫

石路 九、一、二、五、三、五、九、六部隊

每日

報

十一月十七日 一六〇 脚

- 一 明十六日十四時ヨリ石丸團ニ於テ各部隊ノ人事功績思賞關係將校下士官ノ集合教育ヲ實施セラレ
- 二 山本部隊長ハ明十六日耶爾ヲ出發セラレ依而見送リノ爲本部附將校各中隊長ハ十六日六時三十分迄ニ富名腰上南端本道ニ集ルコトヲ今彈藥ノ下ニムシロコモ等ヲ敷キ直接車輛震動ヲ與ヘザル如ク又輸送途中ニ轉落事故ナキ様完全搏着ノ上輸送コト
- 三 教育隊初年兵松島隊知念保勝須川隊平浦松ノ兩名ハ沖繩陸軍病院ニ入院中ノ處本十六日流行性腦脊髄膜炎ニ病名決定ス
- 四 流行性腦脊髄膜炎ノ解説厄ノ如シ
- 五 病原菌ハ流行性腦脊髄膜炎菌ニテ患者及保苗者ノ鼻ノ咽頭粘膜中ニアリテ飛沫ヨリ傳播ス
- 六 菌ノ侵入門戸ハ鼻ノ口ナリ
- 七 病狀ハ一二日ノ潜伏期後突然ニ悪感又ハ戰慄ヲ以テ發熱シ強キ頭痛項痛頃剛(首ヲ前後ニ動かスコトガ不可能ナル)全身疼痛アリテ精神朦朧トナル
- 八 死亡率高シ

六 發病セガ本保苗者アリ注意コト
 各隊注意事項
 頭痛發熱患者、早期受診
 之ヲ所持有、使用スルコト
 含嗽ヲ勵行スルコト(藥物ハ醫務室ニテ交付ス)
 尚初年兵教育隊ハ隔離シアリ
 左記ニヨリ四種混合隊傍接糧安實施ス

十八日 一三カド 本部
 一三三ロ 直轄 通信作業各小隊

場所 富名原大隊本部醫務室
 各隊ハ右時刻ニテ連名簿一編 醫務室ニ提出スルコト
 尚爾餘ノ各隊ハ後日 實施ス
 昨十六日師團司令部ニ於テ配布セラレタル留守業規程ニ關シ研
 究上質疑事項ヲ來ル十九日會報時送ニ本部ニ提出セラレ度
 追勿無キ場合ニ於テモ其ノ旨通報コト

七 京漢作戦間、戦(傷)死者ヲ左記様式ニ依リ調査ノ上來ル二十一日
 會報時送ニ報告コト
 官等ハ總ヘテ新階級ヲ記入スルモノトス

左記

戦(傷)死 月日	任務	戦(傷)死 場所	傷	名	官等	氏名
六、一	分隊長	臨汝縣 張庄附近	頭部 穿透性貫通 銃創	陸軍	何	某
七、九	小銃手	新郷 陸軍病院	下腹部 盲管銃銃	陸兵長	何	某

八 本部附石中尉ハ新郷陸軍病院ニ入院中治癒退院本十
 六日歸隊ハ
 九 松田隊山曹長ハ荷物輸送ノ任務終了シ本十六日歸隊ス
 (十六日會報)
 十 本部各隊ノ荷兵ノ歩哨ハ自今直屬上官ニ對シ異狀ノ有無ヲ報
 告セザルモノトス
 但シ巡視等ノ場合及對空海監視哨ハ此ノ限リニ非ラス

十二月十八日	一 陣地構築
時 可曜	大隊の前日に引續き築城作業を實施す
富名 暇	大隊の後発隊を逐時追及せしむ別紙石五作命
作戰命令	第五九號ヲ下達ス
日 命令	三 教育分遣に南に別紙石九六日命第一五九號ヲ下達ス
會 報	四 別紙石九六會第一四〇號ヲ下達ス
逃 視	五 部隊長の石九六日命第一五八號に基き初度逃視を實施ス
陣地視察	六 參謀長の陣地偵察を爲し、來隊し、二八高地

ニ於テ陣地偵察ヲ實施シニムルハ、故選メ
七 部隊長ニ右偵察後シテ陣地ニ速射砲陣地ヲ
視察ス

會 食
新任ヲ意シ時時各隊長ニハニカリ日取真ニ
於テ會食ヲ實施ス

教育分遣九
中尉ツ尉以下六名ニ下士官候補者教育隊編成要
命セラル

一 曾山一等兵外ニ而名ニ昭和二十年度第一年度下士官
候補者ニシテ高岩成教育隊ニ分遣ヲ命セラル

勤 務 二 本 日、勤 務 員

日直時技

淺尾少尉

巡査時技

山上少尉

日 下 官

小山伍長

内務衛兵

奈良隊

対空監視哨

伊藤隊

対海監視哨

松島隊

日直下士官

小林曹長

現 員 三 本 日、現 員

人員 飯塚少佐以下七七名

馬正 日島 四

獨立歩兵第十五大隊命令

十二月十八日 第六

一大隊、所衛地區轉移に伴、軍需品及隊屬貨物輸送ハ概ネ
圓滑ニ進歩シツテアリ

二大隊ハ後發隊ヲ還時追及セシメントス

三遠藤大尉ハ後發隊諸業務ヲ水崎中尉引継ガタル後

速カニ追及スベシ

四水崎中尉ハ遠藤大尉出發後後發隊長トナリ軍需品及隊

屬貨物ヲ輸送ニ任ズベシ

特ニ彈藥ヲ輸送ニ関シテハ萬全ヲ期スルト共ニ輸送ニ方リテハ

還時後發隊員ヲ追及セシムベシ

大隊長 飯塚豊三郎

下達後要旨電報捺印刷交付
配布先各中隊九IP後發隊長(624648)

獨立歩兵第十五大隊命令

富田三月一日

一 屋嘉部 富田 富田附近 傳染病 其後續發 徵ヲ認メズ

二 大隊 八月二十三日以降 第二期防疫ヲ解除スルト共ニ部官署地ヲ變更

三 大隊本部 依業小隊 通徳小隊 八月二十五日 玉成國民學校 移駐スベシ

四 第二中隊 機關銃中隊 八月二十六日迄 系敷 移駐スベシ

五 第五中隊 八月二十三日以降 成可ノ速カニ一部ヲ玉成ニ移置シ主力ハ富

田ニ移駐スベシ

六 獨立速射砲第三五中隊 主力ハ機關銃中隊 移駐後 富田分隊場ニ

移駐スベシ

七 直轄小隊 八月二十三日以降 一時 東所屋ニ復歸スベシ

八 予八月二十三日以降 屋嘉部 天武國民學校ニ在リ

大隊長 飯塚豊三郎

下達後 要旨口達後印刷交付
既布先 各中隊凡ハ直轄小隊故書
327AS
7/22A
(62P
64B)

石九六日命第一五九號

石第三五九六部隊日々命令

計二月十八日一六〇名

教官

陸軍少尉

中村金吾

助教官

陸軍少尉

尾田金吾

助手

陸軍兵長

三浦茂

同

陸軍上等兵

米谷久四郎

同

陸軍上等兵

河合哲正

同

陸軍上等兵

岡正

右者昭和二十一年度第一年度下士官候補者教育隊編成要員ヲ命ス

依ッテ十二月十八日十三時迄本部ニ集合シ中村少尉ノ指揮ニ

以テ十六日迄ニ高宮城ニ至ルベシ

陸軍一等兵

宮山 廣岡 高谷 松井 加藤 藤富 夫 彌 夫 明